

# 瑞穂第二中学校 学校経営方針 【教育目標に対応した資質・能力の育成】

## 学校経営の理念

- 社会性の基礎を体得することができる学校づくり
- 生徒、教職員が共に「時を守り、場を清め、礼を正す」学校づくり
- 教職員が生き生きと働くことができる学校づくり

□ 瑞穂第二中学校の使命は、生徒一人一人が自分の良さや可能性を認識することができ、あらゆる他者を価値のある存在として尊重することができる生徒を育成し、自らの力で豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる資質・能力を養うことにある。

教育目標	「人間性豊かな社会人をめざして」		
	◎ 進んでよい友達になろう	◎ 丈夫な身体をつくろう	◎ 意欲をもって学習しよう
スローガン	よき友となれ	自分らしく生きる	自主自立の心もつ
目指す生徒像	◎ 励まし合い支え合う生徒	◎ 心身ともに健康な生徒	◎ 主体的に学ぶ生徒
学年目標	<第1学年> 気持ちを言葉にして伝えよう <第2学年> 相手の立場を考え行動しよう <第3学年> 互いに助け合い励まし合おう	<第1学年> 自分を知ろう <第2学年> 自分の長所を伸ばそう <第3学年> 自己実現を図ろう	<第1学年> 自分らしく表現しよう <第2学年> 自らの考えを広めよう <第3学年> 解決に向けて粘り強く学ぼう
目指す学校像	☆ 教え育て導く教師	☆ 師弟同行する教師	☆ 学び続ける教師
目指す学校像	「真心あふれる 瑞穂二中」 ～ あたたく安心して学ぶことができる学校 ～ ・ 生徒が安心して学ぶことができる学校 ・ 保護者、地域の方から信頼される学校 ・ 組織を生かし主体的に課題を解決する学校		
育成する主な資質・能力	□ よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度 □ 多様な他者の価値観や個性を受け入れ、助け合ったり協力し合ったり、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度 □ 多様な他者と協議し、問題を解決し、よりよい生活をつくろうとする態度や、協働して解決しようとする態度 □ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 □ 友人や社会と建設的でよい人間関係を築ける能力（社会的健康）	□ 自己の感情や行動を統制する力 □ 自分の感情に気付いて表現できる能力（情緒的健康） □ 状況に応じて適切に考え、現実的な問題解決ができる能力（知的健康） □ 集団的活動や身体表現等を通じたコミュニケーション能力 □ 筋道を立てて考え、改善の方法等を互いに話し合う活動などを通じて身に付ける論理的思考力 ※心と体を一体として捉えることを重視する。	□ 主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力 □ 様々な変化に対応することができる、思考力、判断力、表現力等 □ 人生の目的や意義を見出し、主体的に人生を選択する能力（人間的健康） □ 全ての学習の基盤となる諸能力※ ※1ここでいう諸能力とは、 言語能力、情報活用能力、 問題発見・解決能力とする。
指導の重点	【各教科】 主体的に学習に取り組む態度、様々な変化に対応できる思考力、判断力、表現力等、学習の基盤となる諸能力の育成 【特別の教養・道徳】 自己を見つめ、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を主体的に身に付ける。 【特別活動】 ・ 人間関係をよりよく形成する能力 ・ 社会をよりよくするために参画する能力 ・ 自己のよさや可能性を生かす能力 ・ 自己の在り方や生き方を考え設計する能力 【総合的な学習の時間】 よりよく課題を解決し、他者と協力しながら、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成 【生活指導】 ・ いじめ問題 ・ 不登校 ・ 情報モラル ・ 安全教育 ・ 教育相談 【キャリア教育・進路指導】 ・ キャリアパスポートの作成 ・ みずほ学の充実 ・ 勤労観や職業観の育成 【特別支援教育】 ・ 校内支援委員会の充実 ・ 個別の教育的ニーズへの対応 ・ 関係諸機関との積極的な連携 【感染症対策】 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底		
○ 中期経営課題及び今年度の重点と成果の検証 ※（ ）内は成果の検証方法等			
【学力向上】			
◇ 主体的・対話的で深い学びの実現する授業改善（年3回の授業観察、ICTを活用した授業改善、授業改善推進プランの作成） ◇ 言語能力の育成（読書活動の充実、読書週間の設定、成果発表資料の作成や発表、生徒会及び各種委員会等において話す力の育成） ◇ 情報活用能力の育成（情報モラルを学ぶ場面を全教科で設定、各教科等においてICT機器の活用を授業の手引きに位置付ける） ◇ 問題発見・解決能力の育成（校内研究の充実、各教科等に問題解決的な学習を位置付ける、特別活動における生徒会活動や学級経営の充実） ◇ 学習の動機付け及び学習習慣の確立（各授業においてめあてを提示する、きずなノートの活用、保護者との連携、部活動に学習部を設置する）			
【健全育成】			
□ 不登校への対応（新たな不登校生徒を生じさせない魅力ある学校づくり、ステップルームの充実、ICT機器を活用した不登校対策の充実） □ いじめへの対応（いじめ対策委員会の実施、SOSの出し方、いじめに関する授業の実施、毎月のいじめ調査の実施、全員面接の実施） □ 社会において自立して生きる力の育成（道徳教育の充実、学年学級経営を充実させる、安全指導及び命の週間、各種行事等の充実）			
【組織力の向上】			
○ 教育の質的な向上を図るための業務スクラップアンドビルド（学校業務に関する職員アンケートの実施、校務支援ソフトの一層の活用） ○ 効率的で効果的な組織運営（働き方改革の推進、学校評価アンケート） ○ 計画的な人材育成（経営支援部を活用したOJTの充実）			

